

CO₂排出量実質ゼロ化サービスの導入企業の拡大、 九州新幹線エリアへの延伸およびサービス名称の決定について

東海道・山陽新幹線では2024年4月から、エクスプレス予約法人会員向けのサービスとして、CO₂フリー電気を活用することで移動に伴うCO₂排出量が実質ゼロとなるサービスを提供してきました。

2024年10月より、本サービスの導入企業が増えるとともに、対象エリアを九州新幹線（博多～鹿児島中央間）エリアへ延伸します。これにより、本サービスを利用することで、東京～鹿児島中央までの区間で移動に伴うCO₂排出量を実質ゼロにすることが出来ます。

また、本サービスの名称が決定しましたので、お知らせします。

引き続き、地球環境保全に関心のあるお客様に、CO₂排出量を気にすることなく安心して東海道・山陽・九州新幹線をご利用いただける環境を整備してまいります。

1. サービス導入企業（2024年10月時点）（導入時期・五十音順）

 アストラゼネカ株式会社様 （4月導入済）	 アスカ株式会社様	 オリックス株式会社様	 株式会社RYODEN様
 共同印刷株式会社様	 第一三共株式会社様	 三菱倉庫株式会社様	 ヴェルサムマテリアルズ・ジャパン株式会社様 シグマアルドリッチジャパン合同会社様 メルクエレクトロニクス株式会社様 メルク株式会社様 メルクバイオフィーマ株式会社様

他1社

【参考：サービススキーム】

- ① JR各社が電力会社等からCO₂フリー電気*を調達
- ② エクスプレス予約法人会員様の出張利用分に対してCO₂フリー電気を充当
 （エクスプレス予約法人会員様はCO₂フリー電気購入による追加料金の支払い）
- ③ エクスプレス予約法人会員様に対してCO₂削減効果の証書を発行

*CO₂フリー電気：太陽光発電など、発電時にCO₂を排出しない再生可能エネルギー電源由来の非化石証書を付与した電気

2. 九州新幹線エリアへの延伸

- （1）延伸するエリア：九州新幹線区間（博多～鹿児島中央間）
- （2）エリア延伸時期：2024年10月
- （3）得られる効果：エクスプレス予約法人会員様が、東海道・山陽・九州新幹線（東京～鹿児島中央間）をご乗車される場合、CO₂排出量（Scope3*）が実質ゼロに。* Scope3：事業者の活動に関連する他社のCO₂排出量

3. サービス名称

「GreenEX（グリーンイーエックス）」

地球環境に優しいイメージである「Green」に「エクスプレス予約サービス」を意味する「EX」を組み合わせたもの。エクスプレス予約サービスを利用することにより、ご移動においても地球環境に優しい選択をしていただきたいという想いを込め、この名称とした。



商標登録出願中

4. 本サービスに関するお問い合わせ先

JR東海エクスプレス予約セールスプロモーショングループ tokyo-sales@jr-central.co.jp
サービスホームページ <https://expresscard.jp/carbon-neutral/>